

認知症ってどんな病気？



目 次

- 身近な問題「認知症」 ————— 1
- 加齢による「もの忘れ」と「認知症」の違い ————— 2
- 「認知症」の症状について ————— 3
- いろいろある「認知症」のタイプ ————— 4
- 「認知症」の進み方 ————— 5
- 「認知症」の治療の3つの柱 ————— 6
- 早期に専門医の受診をすすめる理由 ————— 7
- **チェックしよう!** 認知症早期発見の目安 ————— 8
- 暮らしのヒント ————— 9
- 受診の前にご家族がチェックしておきましょう — 11
- 「オレンジ手帳」について ————— 12
- 岐阜県認知症疾患医療センターについて ————— 13

<監修>



横浜市立大学 名誉教授
メディカルケアコート・クリニック院長 **小坂 憲司**

1939年生まれ。金沢大学医学部卒業。
名古屋大学医学部精神医学教室講師、東京都精神医学総合研究所副参事研究員、
横浜市立大学医学部精神医学講座教授、福祉村病院院長、聖マリアンナ医学研究所
所長、横浜ほうゆう病院院長を歴任し、現在に至る。
世界で初めてレビー小体型認知症を1976年以降の一連の報告のなかで明らかにした。

身近な問題「認知症」 自分は大丈夫と安心していいの？

認知症は高齢化が進むにつれて急増しています。

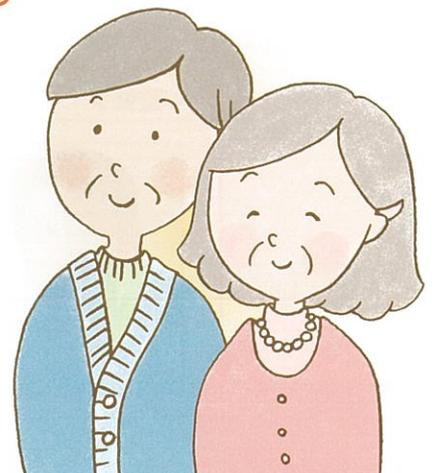
わが国の認知症の高齢者の数は、
2012年には約305万人といわれていたが、
2013年の厚生労働省の発表では、
462万人といわれています。

わが国では65歳以上の7人に1人
85歳以上では、約3人に1人が
認知症といわれています。

認知症は高齢者に多くみられますが、
64歳以下で発症することもあります。
このような若年性認知症の人は約37,800人と
推計されています。

認知症は高齢になればなるほど、
発症の危険は高まります。
認知症は、
決して特別な人がかかる病気ではありません。
誰にでも起こる可能性があります。

**「ご自分やご自分のご家族には関係ない」と考えず
身近なこととして、まずは関心を持ちましょう。
介護する側、あるいはされる側として、
だれもが将来、認知症という病気に関わる可能性は十分あると言えます。
認知症はひとごとではないのです。**



加齢による「もの忘れ」と「認知症」の違い

誰でも年をとると、体の動きや内臓が衰えます。同じように脳の働きも若いころのようにはいなくなり、年齢相応の“もの忘れ”がみられるようになります。これは自然な老化現象です。

一方、認知症は脳にあきらかな障害が出現する病気です。

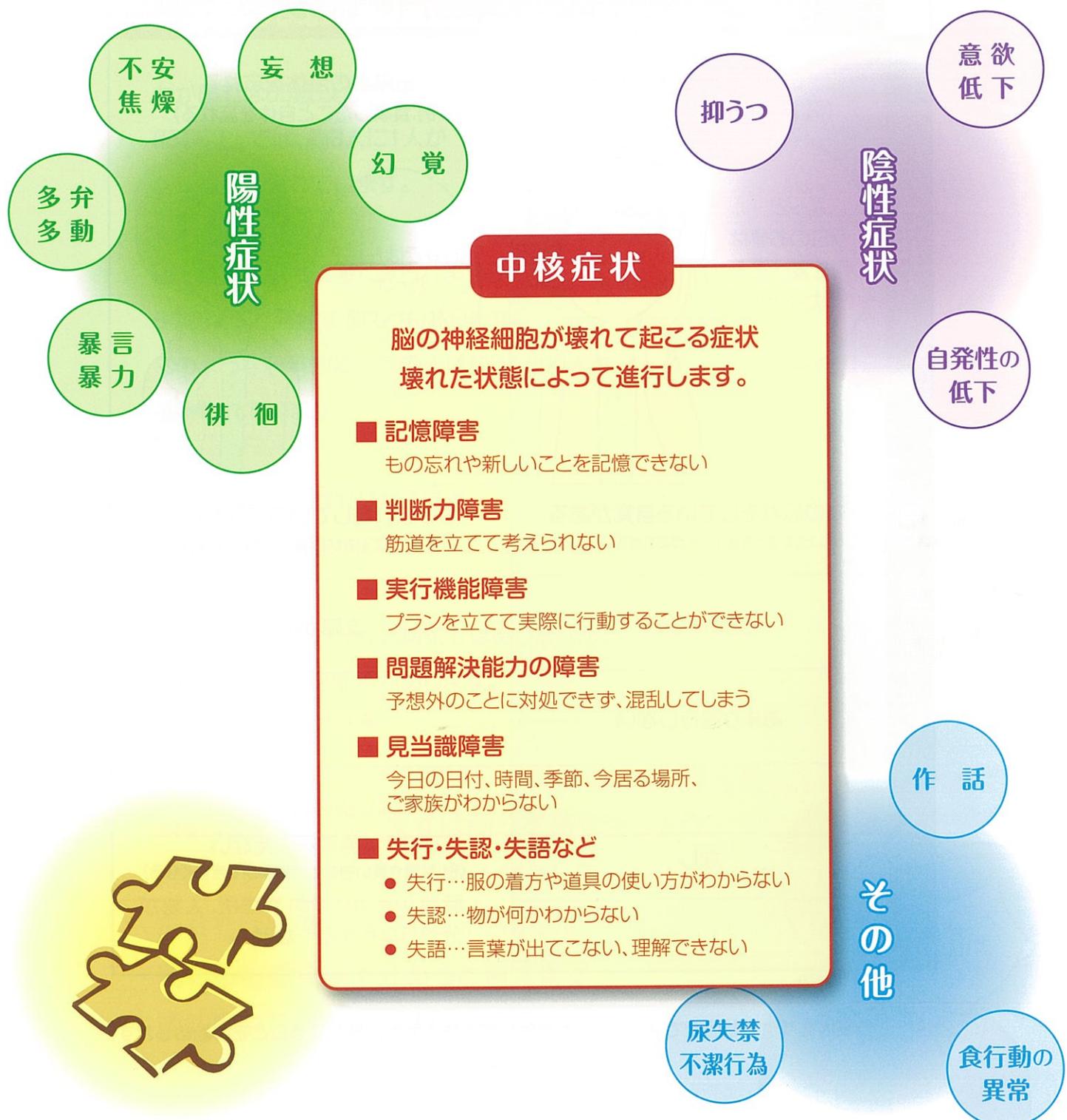
	加齢によるもの忘れ	「認知症」によるもの忘れ
忘れ方	<p>出来事の一部を忘れる (例:食事で何を食べたか忘れる)</p> <p>え〜と… 今日のお昼は何を食べたんだっけ!</p>	<p>出来事の全体を忘れる (例:食事したこと自体を忘れる)</p> <p>お昼ごはんは? 食べてないわよ!?</p>
自覚	もの忘れをしている 自覚がある (思い出そうとする・ヒントがあれば思い出せる)	もの忘れをしている 自覚がない (「まだ食べていない」「食べさせてくれない」)
日常生活	支障はない	支障 がある
進行	あまり進行しない	進行していく
その他の症状	なし	<ul style="list-style-type: none"> • いつも同じ服を着ている • 段取りよく物事を行えない (例:料理や買い物などの家事ができなくなる) • 時間(日付、曜日、季節)や場所、人物が分からなくなる など

注：この表はあくまでも目安です。もの忘れが気になったら早めに受診することをお勧めします。

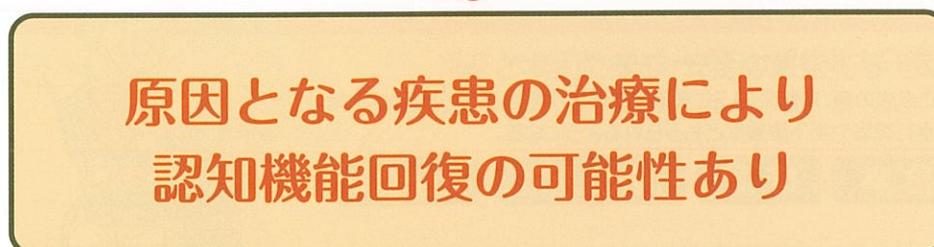
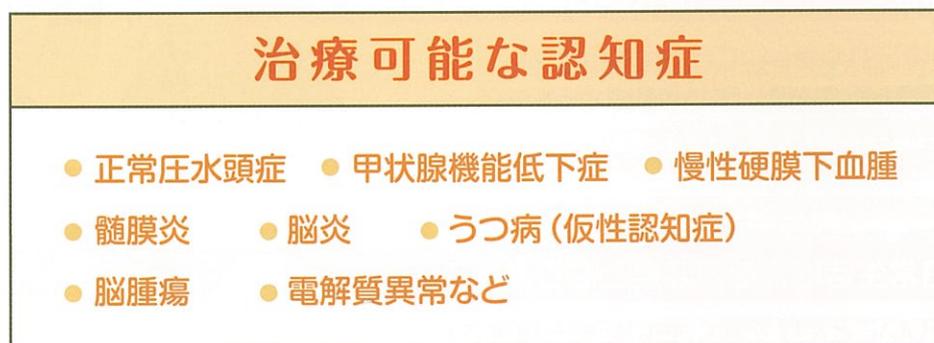
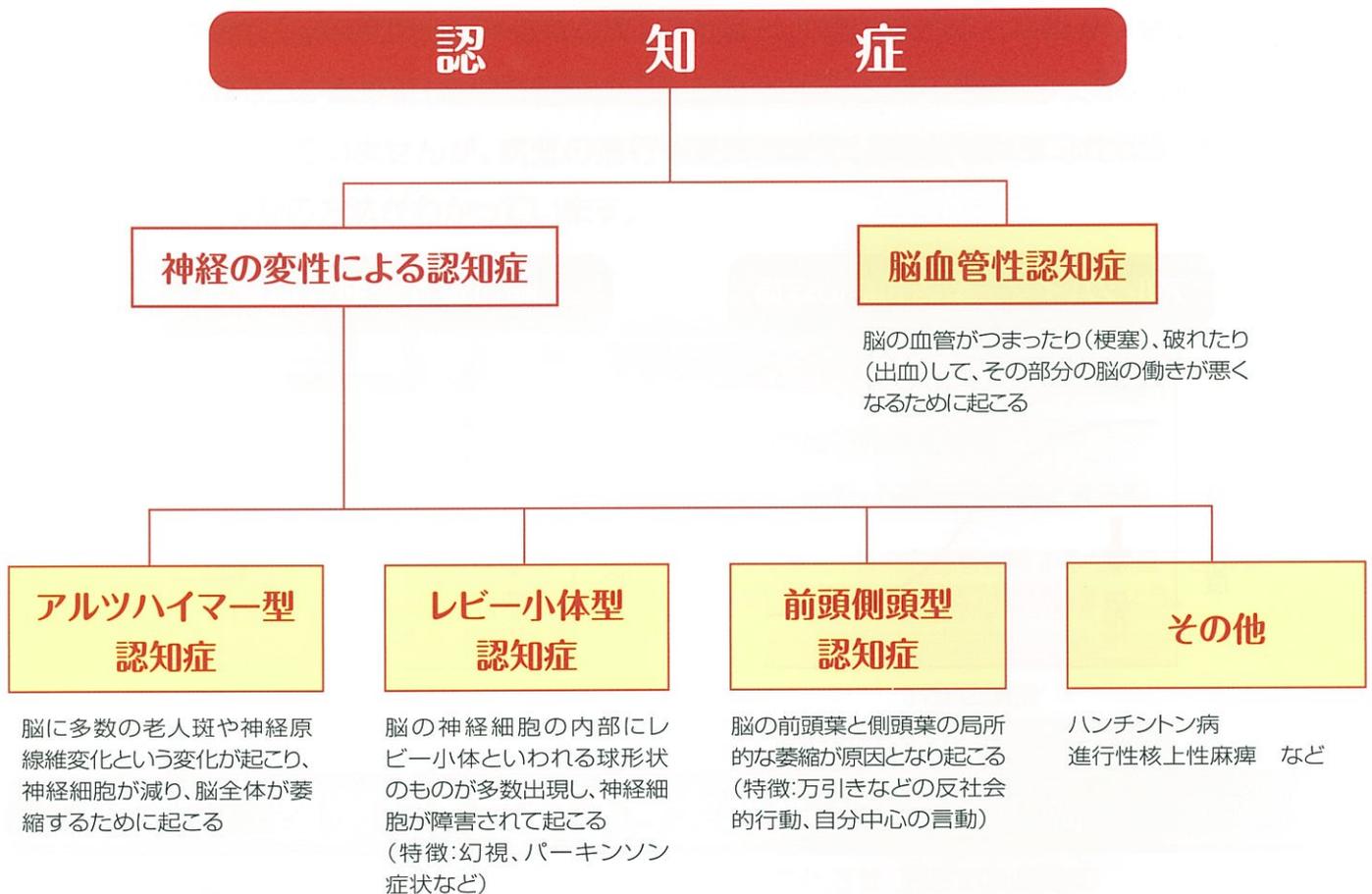
「認知症」の症状について

行動・心理症状(BPSD)

中核症状に、精神的な不安や混乱、ご本人の性格、環境、体調などさまざまな要因が加わり引き起こされます。



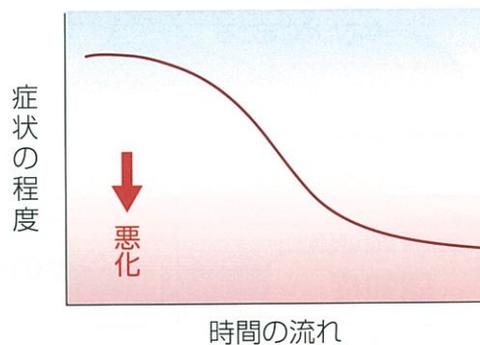
いろいろある「認知症」のタイプ



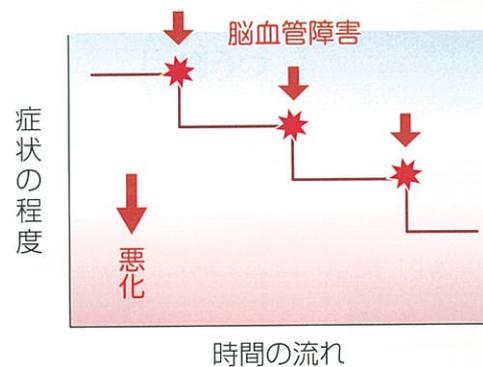
「認知症」の進み方

認知症の経過はさまざまですが、一般的に「アルツハイマー型認知症」は穏やかに発症し、ゆっくり進行していくことが多く、「脳血管性認知症」は梗塞などが起こるたびに階段状に症状が進むことがあります。

アルツハイマー型認知症の経過



脳血管性認知症の経過



認知症の経過は大きく分けて3段階

軽度

家族のサポートがあれば日常生活を送れます

もの忘れや新しいことが覚えられない

- 何度も同じ事を聞く、日付や時間がわからなくなる。
- 金銭管理ができなくなってくる。
- 不安感からイライラ、落ち込みや意欲の低下がみられる。

えっと…
今日は
何日？



中等度

日常生活に介助が必要となります

新しいことだけでなく、古い記憶も障害される

- 物の使い方や動作がわからなくなる。
- 料理や買い物など家事ができなくなる。
- 今いる場所や状況がわからなくなる。 など

(自宅にて)
家に
帰ります



高度

日常生活全般に介助が必要になります

言葉によるコミュニケーションが難しくなる

- ご家族の顔、着替え、入浴、食事や排泄の手順などもわからなくなる。
- 歩行障害や嚥下障害などもみられるようになる。

食事

排泄

清拭・入浴

衣類交換



「認知症」の治療の3つの柱

認知症は脳の神経細胞が破壊されることで起こる病気です。

現在のところ、失われた記憶や機能を回復させ、病気を完全に治す方法は見つかっていませんが、病気の進行を遅らせたり、症状を軽くするためのいくつかの方法がわかっています。

1 薬物療法



- 認知症の進行を抑える薬
- 認知症の行動・心理症状を軽くする薬

※病気により、もの忘れや判断する力が低下します。
お薬は、ご家族、介護者が管理しましょう。

2 非薬物療法 (リハビリテーション)



- 脳を活性化させ、残された機能の維持と向上を図る

ご本人の経験や能力にはたらきかけ、ご本人が安心し、落ち着いて過ごせる時間をつくることで症状の緩和を促します。デイサービス・デイケアでもいろいろな治療法や訓練が行われ活動を通しての楽しい時間や他の方とのコミュニケーションは、家庭生活にはない刺激となり、脳の働きを活発にします。

3 介護



- 行動・心理症状を軽減させるとともに残された機能を維持、向上させる
- ご本人に安心・安全の感覚を与える

※ご家族、周囲の接し方や生活環境など介護のあり次第で症状は良くも悪くもなります。

早期に専門医の受診をすすめる理由

早期発見、早期診断をして早期に適切な対応をすることは大変重要です

1 病気の確定

本当に認知症なのか、症状が似ている他の病気なのかをはっきりさせるとともに、認知症を引き起こしている原因は何かを見極めることにより、的確な診断ができ、治療の方針が立てられます。

認知症の進行を遅らせたり、症状を緩和することで、ご家族と一緒に過ごす時間を長くすることができ、またご家族、介護者の負担を軽くすることができます。



2 病気を理解する

専門医から今後の病状についての見通しを聞くことで、ご家族や親戚が介護体制について相談したり、介護環境を整える準備ができます。



3 介護への道が開ける

専門医の診断を受けて、病気について説明してもらうことによって、現状を受け入れる気持ちが生まれ、対応の仕方などアドバイスを受けることもできます。

認知症という病気を理解しないまま介護を続けていると、症状がさらに進んでしまったり、ご家族との関係が悪化してしまうこともあります。



チェックしよう！ 認知症早期発見の目安

いくつか思いあたることがある場合は、一度専門医に相談しましょう

もの忘れがひどい

- 今、電話を切ったばかりなのに、相手の名前を忘れる。
- 同じことを何度も言う・聞く・する。
- しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う。

判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・運転などのミスが多くなった。
- 新しいことが覚えられない。
- 話のつじつまが合わない。
- テレビの番組の内容が理解できなくなった。

時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- 慣れた道でも迷うことがある。

人柄が変わる

- 些細なことで、怒りっぽくなった。
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった。
- 自分の失敗を人のせいにする。
- このごろ様子がおかしいと人に言われた。

計算力の低下

- 簡単な計算ができなくなった。
- 買い物のレジでトラブルとなったことがある。

ちょっとした難しいことが分らない

- 使い慣れている家電製品の操作ができなくなった。
- 衣服のボタン・ファスナーを掛けることが難しくなった。
- 紐を結ぶことが難しくなった。

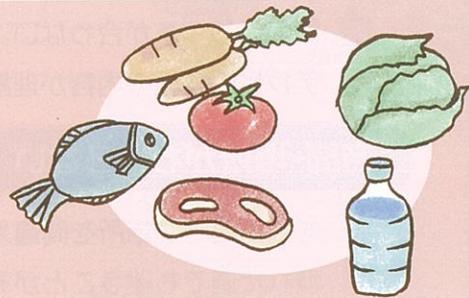
暮らしのヒント

日常生活を工夫することで、日頃の失敗や危険を減らすことができます。
ご本人の見慣れたもの、使い慣れたものを身近に置き、部屋の模様替えや新しい家電製品の導入を避けましょう。
夜にはトイレの明かりを点け、場所を分かりやすくするなど、安心できる環境づくりを心がけましょう。

● 毎日の心がけ ●

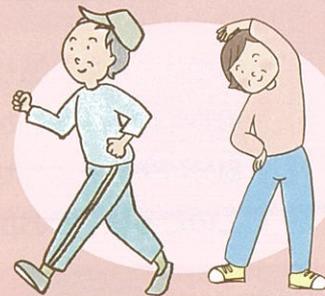
栄 養

毎日の食事は、腹8分目に抑え、野菜、魚を中心としたバランスの良い食事を心がけましょう。また脱水に注意し水分を十分とりましょう。



運 動

加齢に伴う体力の低下を抑え、気持ちをリラックスさせるために、散歩など適度な運動をしましょう。決して無理をせず、ご家族とも協力して行います。



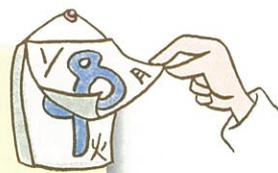
気 分 転 換

好きな音楽を聴いたり、ご家族やご友人とのおしゃべりは良い気分転換となります。疲れた時は昼寝も良い方法ですが寝すぎると夜眠れなくなってしまうため、30分程度にしましょう。

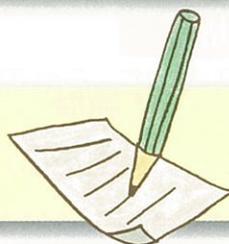


もうひとつの工夫

カレンダー、日めくりの日付を毎日確認する習慣をつけましょう。
また、季節に意識を向けることで生活に変化が生まれます。



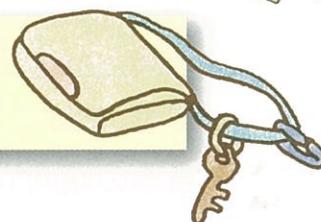
メモ帳などに大切な予定や連絡先を書き、
身につける習慣をつけましょう。



よく使う物は置き場所を決めてシールなどで見出しをつけましょう。
また、トイレにも「トイレ」と書いた紙を貼るのも良い方法です。

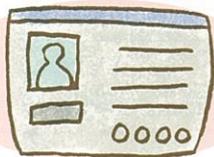


財布などの貴重品はヒモやチェーンで衣服とつなぎ、
紛失を防ぎます。



危険防止

身分の証明



外出時には、名前、住所、
連絡先など分かるものを
身につけましょう。

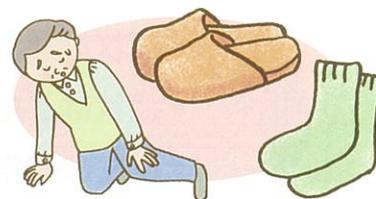
※オレンジ手帳を持ち
歩くのも良い方法です。

車の運転



車の運転は多くの能力を
必要とする高等技術です。
主治医と相談し運転を控
えることも大切です。

転倒の防止



自宅内では、足が引っ掛かるものを
片付け、階段は明るく見やすくしま
しょう。またスリッパや滑りやすい靴下
も要注意です。

受診の前にご家族がチェックしておきましょう

生年月日

略 歴

- 出生地
- 職歴
- 家族構成
- 主たる介護者 など



受診する際は、
必ずご家族が付き添いましょう

既往症

- 過去の病歴
- 手術や事故の経験
(転倒したことはないか、頭にけがをしたことはないか)
- 現在治療を受けている病気と服用中の薬
(現在服用中のお薬の一覧や、「お薬手帳」を持参しましょう)

生活習慣

- お酒、たばこ
- 食べ物や薬のアレルギー
- 食事の傾向や運動習慣、こだわりなど

気になる症状

- どんな変化(これまでにどんな症状があったのか)
- 症状がいつ頃から始まったのか
- 症状は急に始まったか、いつのまにか始まっていたか
- 症状はどんな時にあらわれるのか
- 現在の日常生活への支障はあるか など

要介護状態区分

- 要支援、要介護の認定要介護度
(可能であれば、担当ケアマネージャーの氏名及び事業所名)

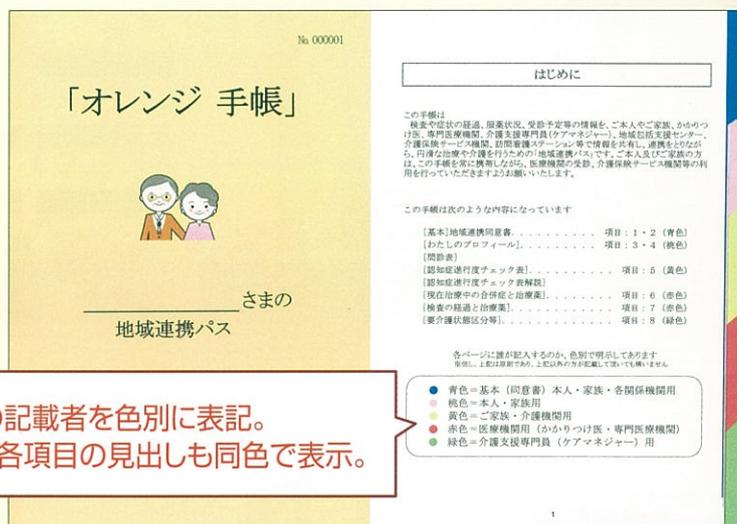
「オレンジ手帳」について

この手帳は、認知症患者様のプロフィール、検査や症状の経過、服薬状況等の情報をかかりつけの先生、専門医療機関、介護保険サービス機関等で共有して、連携をとりながら治療・介護を行うためのパスです。

ご本人及びご家族の方は、この手帳を常に携帯しながら、医療機関の受診、介護保険サービスの利用を行ってもらうようお願いしています。

ご使用にあたっては、個人情報保護の関係から、ご本人及びご家族の同意を得てから開始となります。

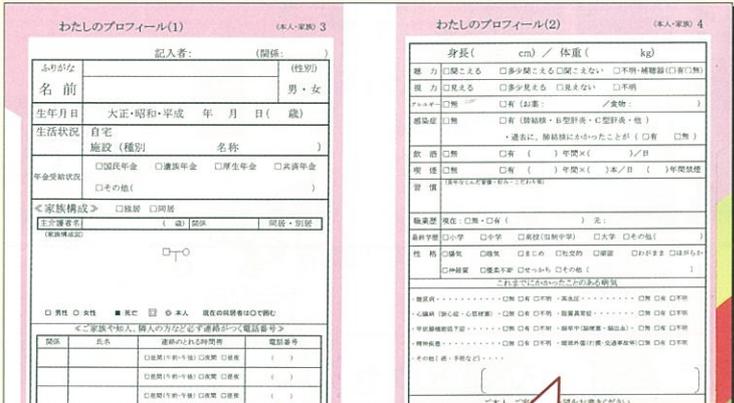
認知症地域連携パス「オレンジ手帳」



項目ごとの記載者を色別に表記。
あわせて、各項目の見出しも同色で表示。

- 青色＝基本（同意書）本人・家族・各関係機関用
- 黄色＝本人・家族用
- 黄色＝ご家族・介護機関用
- 赤色＝医療機関用（かかりつけ医・専門医療機関）
- 緑色＝介護支援専門員（ケアマネジャー）用

*ご使用については、
かかりつけ医、
岐阜県認知症疾患医療
センター(大垣病院内)に
問い合わせしてください。



ご本人の基本情報の把握や、
ご本人、ご家族の思いを知ることができる。
自由記載欄は、情報の不足分を補う。



岐阜県認知症疾患医療センター (大垣病院内)

- ご予約は事前に電話でおねがいします。
- お急ぎの方はご相談ください。
- 鑑別診断は診断の内容によっては日数を頂く事があります。
- 鑑別診断は保険診療です。保険証を忘れずにお持ち下さい。
- ご相談は無料で受付しています。

〒503-0022

大垣市中野町1丁目307番地 大垣病院内

TEL : 0584-75-5031

FAX : 0584-75-5087

曜 日: 月曜日～金曜日
(土日、祝祭日、年末年始除く)

受付時間: 9時～15時



交通アクセス

大垣駅より近鉄バス「赤坂」行、または「荒尾」行に乗車し
「宿地」バス停下車、徒歩2分